

「第11回都城高専おもしろ科学フェスティバル」 開催にあたってのごあいさつ

独立行政法人国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校
校長 田村 隆弘

地域の小中学生の皆さんに、科学の力や不思議を体験していただく都城高専おもしろ科学フェスティバルは、今回で11回目を迎えました。

都城高専は、中学校を卒業した人が入学できる科学技術者を育てる学校です。機械、電気、情報、物質、建築などを勉強できますが、先生の多くが博士です。学生は、最先端の研究をしている先生とたくさんの科学実験や実習、そして、研究をしながら、日本のみならず世界の発展を支える人になるための勉強をしています。

このおもしろ科学フェスティバルは、都城高専の先生や、高専と繋がりのある企業のエンジニアが講師をつとめます。小中学生の皆さんに、物質の不思議な化学反応や、乗り物がどうして動くのかといった原理、そして、壊れにくい建物を作るための原理などを、体験を交えて分かりやすく説明します。

今、世界は、インターネットなど情報技術の急速な進歩によって、生活のスタイルが大きく変化しつつあります。ゲームなどバーチャル空間の技術開発も盛んに行われています。しかし、バーチャルな世界を支える現実の社会も、このおもしろ科学フェスティバルで体験するような原理や化学反応が土台にあります。

高専の卒業生には、勉強した情報技術を活かして、バーチャルな社会を創造する学生もいますし、新しい薬品を開発したり、自動車や船や飛行機を作ったり、超高層ビルやマンションを建設したり、そして、まちづくりなど社会の問題を解決する人もいます。

ぜひ、このお祭り(フェスティバル)を楽しんでいただき、将来、社会を支える、あるいは、未来を創造する科学技術者を目指してください。

終わりにになりましたが、本フェスティバルを開催するにあたりご支援をいただきました多くの企業や団体様に、心より御礼申し上げます。